

河北潟の湖面利用ルール



河北潟は、湖岸にヨシなどの植生帯がひろがり、魚が豊富で、野鳥の繁殖地・越冬地として重要な自然環境が残されています。湖面の利用者、地元住民、行政、NPOらで話し合いをすすめ、河北潟の自然を守りながら、持続的に利用していくために、湖面利用のルールを定めました。

〔年間〕 エンジンでの走行禁止
〔11月～3月〕 湖面での釣り自粛

河北潟西部承水路の北部

水域が狭いので、湖岸植生や水鳥への影響が懸念されることから。

〔年間〕 モーターボートの低速走行
〔12月～2月〕 湖面での釣り自粛

河北潟東部承水路（湖南大橋より北）

湖岸に植生帯がひろがる重要なエリア。また、野鳥の繁殖場所、越冬場所としても重要。水域の幅が狭いことから、一年を通じて高速で走るモーターボートの利用は難しい。

〔年間〕 モーターボートの低速走行

内灘大橋の下から、湖岸の棧橋周辺まで

橋の下から棧橋の前を通過するまでは、低速で走行すること。橋の下がモーターボートの舟着場になっているが、そこから潟へ出入りする際に、棧橋や岸にいる釣り人に大きな波が打ち寄せるので要注意。
(棧橋に釣り人がいる時は、その対岸側を通るなど、配慮する。)

〔年間〕 モーターボートの乗り入れ自粛

野鳥観察舎周辺と競馬場西の入り江

水鳥の避難場所として、モーターボートの立ち入りを自粛するエリア。また、野鳥の繁殖場所や湖岸の植生を保護するエリアとして重要。ボートの爆音や予測不可能な激しい動き、長時間滞在する釣り人や野鳥観察者は、野鳥に過度のストレスを与え、繁殖を失敗させるおそれがある（巣に戻れず卵が冷えたり、育雛放棄など）。繁殖期（3月～7月）はとくに注意が必要。

〔3月～7月15日〕 大宮川河口から舟を出し入れする時は、河口左岸側に寄ること。
岸の近くで長時間とどまらないよう注意。

河北潟全域 共通ルール

1. 湖岸近くを高速で走行しないこと。
(引き波が湖岸を揺らさない距離を保つ)
2. Uターンは、できるだけ沖ですること。

モーターボートの低速走行：基本的に高速走行するウェイクボート、水上バイク、競艇ボートによる競技・練習の自粛エリアとなります。

〔年間〕 モーターボートの乗り入れ自粛

クリーンセンターより上流

多様な生物の生息エリア。



〔3月～6月〕 釣り自粛

津幡漕艇場から津幡川上流200mまで



野鳥の繁殖場所として重要なエリア。釣り人の長時間滞在は、近くに野鳥の巣がある場合、繁殖失敗につながるおそれがあるため注意が必要（巣に戻れず卵が冷えたり、育雛放棄など）。

モーターボート：ウェイクボート、水上バイク、競艇ボート、バスボートなど。

河北潟の自然環境を守りながら利用するために

河北潟湖面利用協議会

ルール策定 2010年2月7日

【参加団体（団体所属の個人参加を含む）】 石川県河川課、石川県農林総合事務所、石川県自然保護課、石川県水産課、石川県ボート協会、いしかわ水辺再生研究会、内灘町環境政策課、大浦校下町会、金沢港湾事務所、金沢市環境指導課、金沢市環境政策課、河北潟沿岸土地改良区、河北潟環境対策期成盟会、河北潟環境ボランティアスタッフ、河北潟干拓土地改良区、NPO法人河北潟湖沼研究所、河北潟自然再生協議会、河北潟ボートクラブ ア・リバーランス、かほく市勤労者協議会、グリーン・アース河北潟、湖南連合町会、津幡の水辺を守る会、津幡町環境安全課、津幡町教育委員会生涯教育課スポーツ係、日本科学者会議石川支部、日本ヘラ釣り研究会金沢支部、日本野鳥の会石川支部、HBF A、北陸ランカースナイパーズ、森森ライオンズクラブ、レクリエーションクラブPiebe's、レクリエーションクラブRageon

☆このルールは、利用者が自主的に運用し、運用する中で見直し、拡充を図っていくものです。ルールの運用、普及にご協力ください☆

連絡事務局：河北潟自然再生協議会 tel. 076-261-6951 fax. 076-265-3435 e-mail. saisei@nbs. jpn. org